



サツマイモ栽培における 土壌水分管理技術

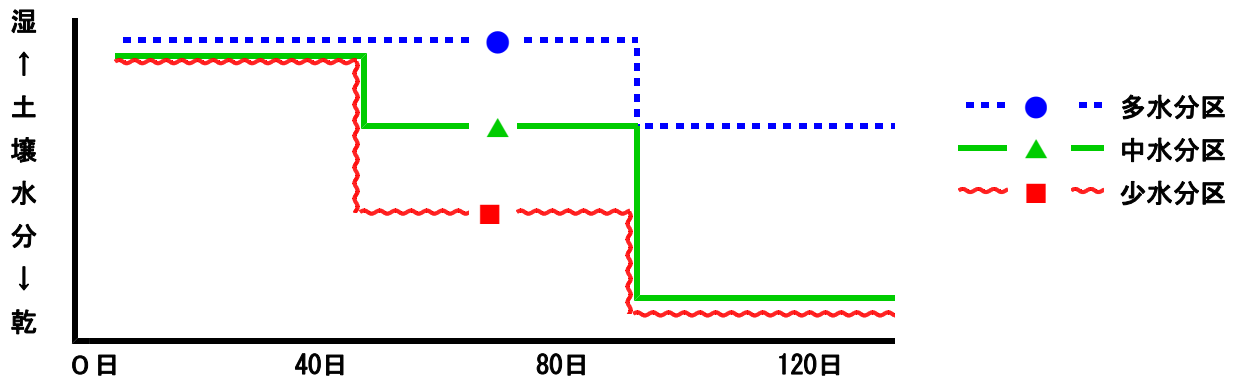
1 背景・ねらい

砂地畑におけるサツマイモ栽培では、連作により低下した排水性、保水性の改善を図り、土壌水分を適切に保つために「手入れ砂」と呼ばれる海砂の客入が慣行的に行われているが、近年手入れ砂の入手が困難となっている。

そこで、連作砂地畑において暗渠排水と灌水を組み合わせた土壌水分の管理が、サツマイモの収量、品質に及ぼす影響を検討した。

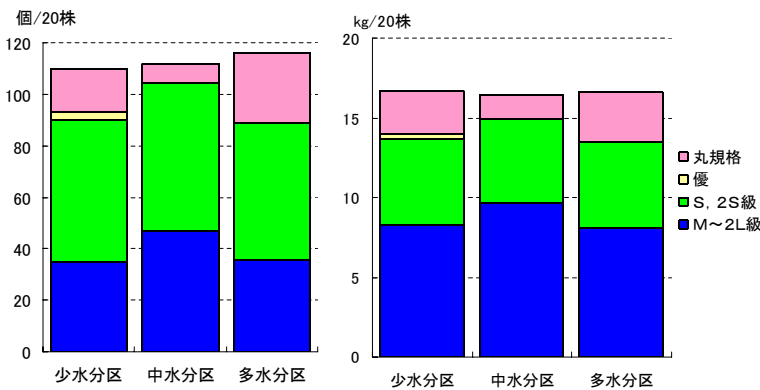
2 成果の内容

土壌水分を中水分区のように管理すると、市場価値の高い秀品のM～2L級の塊根の収量が増加し、また塊根表面の凹凸の程度が弱くなる、塊根の曲がりの程度が弱くなる等外観上の品質も向上される。

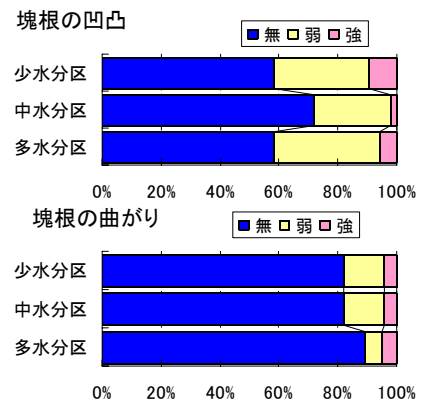


生育初期 (活着・発根期)	生育中期 (イモ肥大最盛期)	生育後期 (イモ充実期)
------------------	-------------------	-----------------

サツマイモの生育ステージ毎の土壌水分の管理方法



サツマイモの階級別個数・収量



サツマイモの外観品質

3 成果の活用・留意点

- 1) 栽培期間に適切な土壌水分管理を行うことにより、「手入れ砂」に頼らないサツマイモの高品質栽培を行うことができる。
- 2) 適切な土壌水分管理を行うためには、大雨の時期には速やかに排水されるように、乾燥する時期には灌水が行えるように、ほ場には暗渠排水・灌水設備が必要である。

問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術支援センター 農業研究所 生産環境担当
 TEL (088) 674-1660 FAX (088) 674-3114
<http://www.green.pref.tokushima.jp/nogyo>